

## 生涯学習概論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと)

1. 学校教育との比較で、社会教育についてその特徴を800字以内で述べなさい。その際、全体的なことと共に、内容・方法・形態・職員に関してなど、分節化して検討を加えなさい。(20点)

2. 教育基本法(平成18年)の第12条(社会教育)では、「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。」と規定されています。また、中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会を目指して～」(平成20年2月)では、生涯学習の振興のための施策を推進するに当たっては「個人の要望」と「社会の要請」のバランスの視点を持つことが重要であることが指摘されています。

ここでいう「個人の要望」と「社会の要請」に応えるとは具体的にどのようなことをいうか、また、「個人の要望」と「社会の要請」のバランスの視点をもつとは具体的にどのようなことを意味しているか。このことについて、社会教育施設における教育・学習支援を想定して600字以内で説明しなさい。(20点)

3. 参加型学習とは、講義のような一方向の知識伝達型の学習ではなく、学習者がその学習過程に主体的に参加することを促す学習方法・手法です。参加型学習と講義形式の学習の違いに触れつつ、参加型学習の学習者に対する効果について、600字以内で述べなさい。(15点)

4. 次の事項の中から3つを選び、それぞれ80字以内で簡潔に説明しなさい。(各5点)  
(4つ解答した場合は無効とする)

(1) P.ラングラン

(2) 専門学校

(3) 発達課題

(4) 偶発的学習

5. 次の文章の ~ の ( ) に最も適する語句を下の選択肢より選びなさい。(各3点)

公民館は、( ) に制定された ( ) が定める社会教育施設である。同法第21条第1項は、公民館は ( ) が設置すると規定している。公民館の目的は、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することである。

全国に設置された公民館の数は、他の社会教育施設である図書館(約3,000館)や博物館(約5,700館)より多い。学校教育施設と比べると、( ) 数である。

公民館には、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する ( ) を置くことができる。この制度によって、住民の意向を適切に反映した公民館の運営がなされることが期待されている。

数値は平成20年度社会教育調査による。博物館には博物館類似施設を含む。

ア. 大正9(1920)年    イ. 昭和24(1949)年

ウ. 昭和40(1965)年

ア. 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律

イ. 社会教育法    ウ. 公民館法

ア. 都道府県    イ. 都道府県および市町村    ウ. 市町村

ア. 小学校とほぼ同じ    イ. 中学校より多いが小学校より少ない

ウ. 中学校とほぼ同じ

ア. 社会教育委員    イ. 公民館運営審議会    ウ. 公民館委員会

6. 次の文を読んで、その内容が正しい場合は、間違っている場合は×をつけなさい。

(各3点)

(1) 生涯学習主事は都道府県の生涯学習推進本部事務局に置かれる専門職員である。

(2) 社会教育法の条文に「生涯学習」という言葉が初めて明記されるのは、平成20年のことである。

(3) 図書館法は公共図書館には適用されるが、学校図書館には適用されない。

(4) 社会教育関係団体の指定を受けるには、当該団体の事務局が所在する市区町村の教育委員会への届け出を必要とする。

(5) 1973年のフォール報告では、リカレント教育の必要性が提唱された。